

地域づくりの方向8について

～ 伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち ～

新基本計画体系案

現基本計画体系

【政策】		【施策】	
8-(1)	アート・カルチャーによるまちづくりの推進	①	文化芸術の鑑賞・参加機会の創出
		②	地域文化・伝統文化の継承と発展
			7-(2)-③へ移行
			総論等へ移行
8-(2)	生涯学習・生涯スポーツの推進	①	多様な学習活動の支援と学びの循環の創造
		②	スポーツ・レクリエーション活動の推進
			8-(2)-①～②と統合

【政策】		【施策】	
8-(1)	アート・カルチャーによるまちづくりの推進	①	多様な芸術・文化の創造と創造環境の整備
		②	地域文化・伝統文化の継承と発展
		③	交流の推進によるにぎわいと発展の共有
		④	アート・カルチャーによる魅力の発信
8-(2)	生涯学習・生涯スポーツの推進	①	多様な学習活動への支援
		②	スポーツ・レクリエーション活動の推進
		③	学びを通じた仲間づくり・地域づくり

【変更理由】

●8-(1)-①

現基本計画策定時から、区立芸術文化劇場、池袋西口公園野外劇場、としま区民センター等の新たな創造環境が整備された。これらのハード面を活用して、ソフト面を充実することによって、誰もが文化芸術を鑑賞・参加できるまちを実現するため、変更する。

●8-(1)-③

観光政策の大きな柱であることから、7-(2)-③へ移行する。

●8-(1)-④は、以下の理由から総論等へ移行する。

・国際アート・カルチャー都市については、本来すべての施策で意識すべき内容であるため、個別施策の中で特筆せず、総論「目指す都市像」の中で位置づけられるべきものであるため。

・国際アート・カルチャー特命大使との連携については、総論の「参画と協働によるまちづくり」において位置付ける予定であるため。

・なお、魅力の発信の要素については、8-(1)-①の中で位置づける。

●8-(2)-③

現行の③「学びを通じた仲間づくり・地域づくり」を、8-(2)-①多様な学習活動の支援や、8-(2)-②スポーツ・レクリエーション活動の推進によって実現していく施策目標として、一体として施策展開を図っていくよう①、②それぞれの施策の中で記載することとし、わかりやすく整理する。

施策8-1-1 文化芸術の鑑賞・参加機会の創出

【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 文化の魅力が発信され、誰もが等しく文化芸術を享受できるまち。
- 文化芸術の創造にあらゆる主体が参加し、そこで生まれた地域の文化が次世代に継承されるまち。

【取組方針】

誰もが文化芸術を鑑賞できる機会の充実

区立芸術文化劇場、池袋西口公園野外劇場、新区民センター等が整備され、今後はこれらの施設の魅力を発信するとともに、ソフト面を充実する必要があります。

劇場のまちとしての魅力を発信するとともに、開催されるイベントや演目にオンライン配信などを取り入れることで、誰もが文化芸術を鑑賞することができる機会の充実を地域一体となって進めていきます。

【主な事業】 文化芸術創造支援事業／芸術文化劇場の運営と文化芸術発信事業

あらゆる主体の文化芸術活動への参加

「国際アート・カルチャー都市」の実現に向けて、豊島区内のあらゆる主体が特色のある文化芸術活動を行うとともに、それぞれの活動が連動し、地域に根付いていくことが求められています。

次世代の担い手を育むためにも、「としま文化の日」を基軸としながら、地域の文化団体はもとより子どもや一般の区民が文化芸術活動への参加意識を醸成します。

【主な事業】 としま文化の日推進事業／子どものための文化体験事業

【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	調査中	現状値を踏まえ設定	現状値を踏まえ設定	区立劇場、ホール、野外劇場の年間来場者数【万人】	12.5万人	50.4万人	50.4万人

8-1-1 施策内容チェックシート


1. 施策名変更

	新	旧
施策名	文化芸術の鑑賞・参加機会の創出	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備
【変更理由】 ◇現基本計画策定時から、区立芸術文化劇場、池袋西口公園野外劇場、としま区民センター等の新たな創造環境が整備された。これらのハード面を活用して、ソフト面を充実することによって、誰もが文化芸術を鑑賞・参加できるまちを実現するため、変更する。		

2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
●誰もが文化芸術を鑑賞できる機会の充実 ◇誰もが文化芸術を鑑賞・参加できる機会の拡充 ◇多様性を認め合う意識を醸成する文化体験の推進 ◇演劇のまち池袋のイメージ拡大 ◇国際アート・カルチャー都市の拠点としてのホールを活用した文化の発信	◇文化芸術に接する機会の拡充 ◇演劇のまち池袋のイメージ拡大 ◇国際アート・カルチャー都市の拠点としてのホールの整備と文化の発信
●あらゆる主体の文化芸術活動への参加 ◇誰もが文化芸術を創造できる環境の拡充 ◇あらゆる主体による文化創造を可能とする人材の育成	◇文化創造環境の充実 ◇あらゆる主体による文化創造を可能とする人材の育成

3. SDGsを意識した点

◇施策名や取組方針に「誰一人取り残さない」SDGsの理念を盛り込んだ。 ◇目指すべきまちの姿に、年齢、障害の有無、経済的な状況といった社会的包摂の観点を明記した。 ◇ステークホルダーとして、地域の多様な主体との連携を意識した。		
意識したゴール 	意識したターゲット 5.1 あらゆる場所での女性・女児差別撤廃 10.2 全ての人々が社会的・経済的・政治的に排除されないよう能力強化を行い、参画を促進する。 11.7 安全で使いやすい緑地や公共スペースをすべての人が利用できるようにする。 17.17 公民、市民のパートナーシップ推進	意識したローカル指標 5.1 女性活躍推進計画の策定有無 10.2 ジニ係数 11.7 面積当たりの図書館数・公民館数、図書館面積・公民館面積 17.17.1 地域サポーターを設置している市区町村の割合

4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇新型コロナの影響により、文化芸術に接する方法・機会なども大きく変化している。オンラインによる鑑賞・参加・創造機会の創出など時代のニーズに合った取組を目指す。

5. 参画と協働を意識した点

◇文化芸術活動を活発にするためには、地域の多様な主体との連携が不可欠であるため、取組方針に明記した。
--

指標設定に向けたチェックシート

施策名	8-1-1	文化芸術の鑑賞・参加機会の創出
部課名	文化商工部 文化デザイン課	

【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
文化の魅力が発信され、誰もが等しく文化芸術を享受できるまち。	①「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	文化に触れ心豊かになったと感じた人の割合	→ 誰もが文化芸術を鑑賞できる機会の充実	②区立劇場、ホール、野外劇場の年間来場者数【万人】
文化芸術の創造にあらゆる主体が参加し、そこで生まれた地域の文化が次世代に継承されるまち。	③文化芸術事業に参加し、「有意義な体験になった」と思う人の割合【%】	文化芸術活動を通じて行われた区民同士の交流促進、来街者増、シビックプライドの醸成		→ あらゆる主体の文化芸術活動への参加

【施策の進捗状況を測る参考指標】 * 今年度実績値が判明後に設定

指標名		区分	指標種別	2018 実績値	2019 実績値	2020 実績値	2021 目標/実績値	2022 目標値	2023 目標値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	2030 目標値
①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	-	-	-	調査中	*	*	*	現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定
②	区立劇場、ホール、野外劇場の年間来場者数【万人】	新規	活動指標	7.0	16.9	12.5	21.0	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4
③	文化芸術事業に参加し、「有意義な体験になった」と思う人の割合【%】	新規	成果指標	—	—	88.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④	参加型文化芸術事業の実施回数【回】	新規	活動指標	—	—	53	70	70	70	80	80	80	90	90	90	100

指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)			出典
指標①	区民意識調査の①文化の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	施策の進捗状況を示す客観的な指標のため			協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標②	芸術文化劇場、舞台芸術交流センター、グローバルリングシアター、区民センター多目的ホール・小ホールの来場者数	誰もが等しく文化芸術を鑑賞・参加・創造するための体制整備の活動量を示す指標であるため			所管課データ
指標③	参加型文化芸術事業(子どものための文化体験事業等)の参加者アンケートで「有意義な体験になった」と答えた人の割合	参加型文化芸術事業に参加した区民の意識を反映する指標であるため			所管課データ
指標④	参加型文化芸術事業(子どものための文化体験事業等)の年間実施回数	芸術文化活動へ参加するための事業の活動量を示す指標であるため			所管課データ

【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014 実績値	2020 目標値	2025 目標値	設定理由
池袋演劇祭の入場者数	成果指標	廃止	所管課データ	30,381人	40,000人	50,000人	若手の舞台関係者の発表及び成長の場であるとともに、区民が多様な文化に身近に接する機会ができることを示す指標であるため
文化芸術創造支援事業における創造活動件数(にしすがも創造舎におけるワークショップ参加者数)	成果指標	廃止	所管課データ	270件 (1,685人)	300件 (2,000人)	300件 (2,200人)	文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため

施策8-1-2 地域文化・伝統文化の継承と発展

【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 地域の文化財が適切に保存され、**将来にわたって持続的に活用**されていくまち。
- 誰もが**伝統文化や地域文化に誇りと愛着を持ち、地域文化のかたりべや担い手となるまち。

【取組方針】

文化資源を持続的に保存・活用する取組の推進

豊島区には、自由学園明日館や雑司ヶ谷鬼子母神堂などの国指定重要文化財、旧マツケーレブ邸など都指定有形文化財（建造物）、区指定文化財も旧鈴木家住宅など15にもものぼり、文化財の保存経費の問題、その有効活用が課題となっています。

本来の歴史的価値を損なうことなく、**持続的に活用**していく取組を時代のニーズに合った媒体を活用するなど、様々な工夫をしながら推進します。

【主な事業】 雑司が谷旧宣教師館の活用事業／鈴木信太郎記念館の活用事業／文化財等保管施設の整備

誰もが地域文化を継承し、誇りと愛着を高める事業の強化

豊島区には、長崎獅子舞や富士元囃子などの無形民俗文化財や池袋モンパルナスなど地域で育まれてきた文化資源が多くある一方、人口の流動性が高いことなどから、その継承が課題となっています。

地域文化がしっかりと継承されるよう、誇りと愛着を高めるための取組を**多様な主体と連携**しながら強化します。

【主な事業】 郷土資料館による歴史・文化の普及・発信事業／豊島区収蔵作品等3分野企画展事業

【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	38.8%	49.0%	60.0%	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館の入館者数及びワークショップ・イベント参加者数【人】	28,121人	41,208人	55,000人

8-1-2 施策内容チェックシート

1. 施策名変更


	新	旧
施策名	同右	地域文化・伝統文化の継承と発展
[変更理由]		

2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<p>●文化資源を持続的に保存・活用する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域との連携による表現活動の活性化による地域のにぎわいの拡大 ◇文化鑑賞機会の拡充 ◇文化財の保存及び適切な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域との連携による表現活動の活性化による地域のにぎわいの拡大 ◇文化鑑賞機会の拡充
<p>●誰もが地域文化を継承し、誇りと愛着を高める事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域文化・伝統文化の継承と発展 ◇教育現場との連携の強化 ◇地域文化の担い手の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域文化の継承と発展 ◇教育現場との連携の強化

3. SDGsを意識した点

- ◇目指すべき街の姿、取組方針に「持続的」というSDGsの理念を取り入れた。
- ◇目指すべきまちの姿、取組方針の担い手について、「誰もが」という広い概念とした。

意識したゴール	意識したターゲット	意識したローカル指標
	4.7 持続可能な開発のための知識及び技能習得の推進 11.4 文化遺産・自然遺産の保護・保全を強化 17.17 公民、市民のパートナーシップ推進	4.7 社会教育施設割合 11.4 平均文化財保存事業費 17.17.1 地域サポーターを設置している市区町村の割合

4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

- ◇新型コロナの影響により、地域文化・伝統文化に触れる機会や方法などが大きく変化している。オンラインによる公開など時代のニーズに合った取組を目指す。

5. 参画と協働を意識した点

- ◇地域文化・伝統文化を継承・発展させるためには、地域の多様な主体との連携が不可欠であるため、取組方針に明記した。

指標設定に向けたチェックシート

施策名	8-1-2	地域文化・伝統文化の継承と発展
部課名	文化商工部 文化デザイン課	

【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
地域の文化財が適切に保存され、将来にわたって持続的に活用されていくまち。	①「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	文化財としての評価や価値、年度別推移。	→ 文化資源を持続的に保存・活用する取組の推進	②郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館の入館者数及びワークショップ・イベント参加者数【人】
誰もが伝統文化や地域文化に誇りと愛着を持ち、地域文化のかたりべや担い手となるまち。	③「地域の歴史や文化財への理解が深まった」と思う区民の割合【%】	無形民俗文化財の後継者数と年齢構成	→ 誰もが地域文化を継承し、誇りと愛着を高める事業の強化	④地域文化普及啓発事業開催数【回】

【施策の進捗状況を測る参考指標】 * 今年度実績値が判明後に設定

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】	継続	成果指標	35	33	39	41	43	45	47	49	52	54	56	58	60
②	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館の入館者数及びワークショップ・イベント参加者数【人】	新規	活動指標	53,289	42,775	28,121	30,168	32,928	35,688	38,448	41,208	43,968	46,728	49,488	52,248	55,000
③	「地域の歴史や文化財への理解が深まった」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	—	—	—	調査中	*	*	*	現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定
④	地域文化普及啓発事業開催数【回】	新規	活動指標	70	61	47	62	72	73	74	74	77	78	79	80	81

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	区民意識調査の①文化の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	文化財や文化資源について区民がどのように認識しているかを示す指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標②	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館の入館者数と同館主催で開催する講座、ワークショップ等の事業への参加者累計	多くの区民が郷土を学び、文化財の適切な保存活用を理解することが反映できる指標であるため	所管課データ
指標③	地域文化普及啓発事業の参加者アンケートで「地域の歴史や文化財への理解が深まった」と回答した人の割合	地域文化への誇りと愛着を醸成するための理解を図る指標であるため	所管課データ
指標④	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館で開催する講座、ワークショップ等の事業開催数	郷土資料の活用による様々な事業の実施によって、区民の歴史・文化に対する理解を深めるための活動量を示す。	所管課データ

【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合	成果指標	継続	豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書	26.5%	31.5%	36.5%	地域文化・伝統文化の継承・発展の趣旨が区民に浸透しているか、実践されているかを示す指標であるため
歴史文化施設への入館者数	活動指標	廃止	所管課データ	25,405人	26,000人	28,000人	区の歴史文化施設が区民に親しまれているかを示す指標であるため

施策 8 - 2 - 1 多様な学習活動の支援と学びの循環の創造

【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿



○誰もがいつでもどこでも学ぶことができるまち。

○学びの成果を次の学びにつなげ、活動する人と地域資源の循環（わ）でコミュニティが活性化するまち。

【取組方針】

多様な生涯学習の「場」の整備

新型コロナウイルスの影響による「学びの継続」の課題が顕在化しました。コロナ禍に限らず、個人の生活スタイルを崩すことなく学ぶことができる環境の整備が求められています。

オンライン環境の整備をはじめ、年齢、性別、障害の有無、日本語を母語とする・しない等に関わらず**学ぶ側の多様性に合わせた**学びのスタイルを提供します。

【主な事業】 地域文化創造館の管理・運営／点字図書館障害者サービス事業／池袋図書館の改築／千登世橋教育文化センター再整備方針の検討／千早地域文化創造館、千早図書館の整備検討

学習活動の組織化とネットワークの支援

個々の学びの成果を個人にとどめるだけでなく、積極的に地域に還元する流れの構築が課題となっています。

行政がネットワーク構築の支援等により学びのプラットフォームを整備し、あらゆる主体が参画・協働し**学びの成果を地域コミュニティの活性化**につなげます。

【主な事業】 大学との協働による「としまコミュニティ大学」／子どもの読書活動支援事業

【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「学んだことを地域で生かして活動している」と思う区民の割合【%】	調査中	現状値を踏まえ設定	現状値を踏まえ設定	学習成果の発表機会数【回】	調査中	現状値を踏まえ設定	現状値を踏まえ設定

8-2-1 施策内容チェックシート

1. 施策名変更





	新	旧
施策名	多様な学習活動の支援と 学びの循環の創造	「多様な学習活動への支援」と「学びを通じた仲間づくり・地域づくり」を統合
【変更理由】 ◇現行の「学びを通じた仲間づくり・地域づくり」を、8-(2)-①多様な学習活動の支援や、8-(2)-②スポーツ・レクリエーション活動の推進によって実現していく施策目標として、一体として施策展開を図っていくよう①、②それぞれの施策の中で記載することとし、わかりやすく整理する。		

2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
●多様な生涯学習の「場」の整備 ◇地域文化創造館や図書館等の生涯学習の場の利活用	◇生涯学習の環境整備 ◇情報センターとしての図書館の機能充実 ◇点字図書館の充実による障害者サービスの向上
●学習活動の組織化とネットワークの支援 ◇学習活動の組織化支援 ◇学習プログラムの企画運営への参加推進 ◇学習活動のネットワーク化の促進 ◇地域で活動する人の育成と活動支援	◇学習活動の組織化支援 ◇学習プログラムの企画運営への参加推進 ◇学習活動のネットワーク化の促進 ◇ボランティアの養成と活動支援

3. SDGsを意識した点

◇「誰もがいつでもどこでも学べる」まちの姿は、誰一人取り残さない社会の実現への第一歩となる。
 ◇学びを通じたパートナーシップの構築によりコミュニティを活性化することで、あらゆる主体が積極的に地域社会をとりまく諸課題を「自分ごと」としてとらえるようになる。そして、地域課題解決に積極的に取り組むことにより、「誰一人取り残さない」地域づくりにつながる。

意識したゴール	意識したターゲット	意識したローカル指標
   	4.7 持続可能な開発のための知識及び技能習得の推進 10.2 全ての人々が社会的・経済的・政治的に排除されないよう能力強化を行い、参画を促進する 11.7 安全で使いやすい緑地や公共スペースを、すべての人が利用できるようにする 17.17 公民、市民のパートナーシップ推進	4.7 社会教育施設割合 11.7 面積当たりの図書館数・公民館数、図書館面積・公民館面積 17.17 地域サポーターを設置している市区町村の割合

4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇新型コロナウイルス蔓延禍でも学びを継続できるようオンラインの学びの場を整備する。

5. 参画と協働を意識した点

◇主体的に学ぶ人や地域で活動する人が地域資源を活用することで学びが循環し、コミュニティが活性化する。そのため、区民の参画とあらゆる主体との協働は不可欠である。

指標設定に向けたチェックシート

施策名	8-2-1	多様な学習活動の支援と学びの循環の創造
部課名	文化商工部 学習・スポーツ課、図書館課	

【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
誰もがいつでもどこでも学ぶことができるまち	①「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】	民間等で提供された生涯学習機会の状況	→ 多様な生涯学習の「場」の整備	②学習・スポーツ課と図書館課が実施する生涯学習講座等の事業数(うち、会場に行かずに参加できる事業数)【回】
学びの成果を次の学びにつなげ、活動する人と地域資源の循環(わ)でコミュニティが活性化するまち	③「学んだことを地域で生かして活動をしている」と思う区民の割合【%】	担い手の育成状況、コミュニティの活性化状況	→ 学習活動の組織化とネットワーク支援	④学習成果の発表機会数【回】

【施策の進捗状況を測る参考指標】 *今年度実績値が判明後に設定

指標名	区分	指標種別	2018 実績値	2019 実績値	2020 実績値	2021 目標/実績値	2022 目標値	2023 目標値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	2030 目標値
① 「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】	新規	成果指標	-	36.9%	34.3%	36.0% (目標値)	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%	42.0%	44.0%	46.0%	48.0%	50.0%
② 学習・スポーツ課と図書館課が実施する生涯学習講座等の事業数(うち、会場に行かずに参加できる事業数)【回】	新規	活動指標	-	-	690 (40)	調査中	*	*	*	現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定
③ 「学んだことを地域で生かして活動をしている」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	-	-	-	調査中	*	*	*	現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定
④ 学習成果の発表機会数【回】	新規	活動指標	678	623	91	調査中	*	*	*	現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	満足度調査の設問「地域文化創造館の事業に参加したことがあるか」に対し、「ある」と回答した人の割合	施策に対する区民の印象を数値で把握できる指標であるため	地域文化創造館利用者満足度調査
指標②	学習・スポーツ課と図書館課の主催事業数の合計	生涯学習事業の実施量を示す指標であるため	所管課データ
指標③	区民意識調査の⑩文化の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区民の活動状況を数値で把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標④	学習・スポーツと図書館課の学習成果発表機会の数(自主研究活動、展示、寄稿、文化祭等での発表、エリアガイドボランティア、読み聞かせボランティアの派遣回数など)の合計	ネットワークづくりをサポートする体制の活動量を示す指標であるため	所管課データ

【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014 実績値	2020 目標値	2025 目標値	設定理由
「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」について、肯定的な回答をする区民の割合【旧施策8-2-1】	成果指標	廃止	豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書	28.0%	40.0%	50.0%	区民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習の場づくりができていないかを示す指標であるため
図書館資料の貸出冊数【旧施策8-2-1】	活動指標	廃止	所管課データ	195万冊	218万冊	228万冊	図書館の利用状況は、多様な学習活動支援の成果を示す指標のひとつであるため
「地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」について肯定的な回答をする区民の割合【旧施策8-2-3】	成果指標	廃止	豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書	5.7%	15.0%	20.0%	学習が個人のレベルで完結することなく、学習過程や活動成果を地域に還元し、自ら社会参画しながら学びあう仕組みづくりができていないかを示す指標であるため
読み聞かせボランティア派遣回数【旧施策8-2-3】	活動指標	廃止	所管課データ	210回	315回	441回	読み聞かせボランティアの活動及び育成状況を示す指標であり、仲間づくりや地域づくりにもつながっていると考えられるため

施策 8 - 2 - 2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 年齢や性別、障害の有無に関わらず、スポーツを通じて誰もが心身ともに健康で豊かな生活を営むことができるまち。
- 誰もが生涯を通してスポーツに親しむことができる環境の整備・充実を図り、**人と人とのつながりを育み、スポーツで人と地域がいきいきと輝くまち。**



【取組方針】

多様なニーズに対応したスポーツ参加機会の拡充

近年、区民18歳以上の週1回以上のスポーツ実施率が減少しており、健康づくりや介護予防の観点から、スポーツへの参加機会の充実が求められています。

区民の誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、関係団体や民間事業者との連携、ICTの活用などにより、ライフステージや多様な志向に応じたスポーツ活動を促進します。

〔主な事業〕生涯スポーツ推進事業／スポーツ・レクリエーション活動の振興

スポーツ活動の基盤となる環境整備

健康意識の向上や地域の一体感など、東京2020大会を契機にスポーツへの興味・関心が高まっており、日々の生活の中で、身近にスポーツを親しむことができる環境づくりが求められています。

区立体育施設の計画的な整備と充実、学校施設や公園などの区立施設の活用を促進し、身近な場所で気軽にスポーツができる環境を**公民連携**して整備します。

〔主な事業〕学校開放事業／スポーツ施設の管理・運営／野外スポーツ施設（旧第十中学校跡地）の整備／総合体育場管理棟の改築／千登世橋教育文化センター再整備方針の検討

【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「週に1回以上スポーツを実施する」18歳以上の区民の割合【%】	28.5	70.0	70.0	区立体育施設利用者数【人】	705,589	1,450,000	1,580,000

8-2-2 施策内容チェックシート


1. 施策名変更

	新	旧
施策名	同右	スポーツ・レクリエーション活動の推進
[変更理由]		

2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<p>●多様なニーズに対応したスポーツ参加機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子どものスポーツ活動の推進 ◇働き盛り・子育て世代のスポーツ活動への支援 ◇高齢者のスポーツ活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どものスポーツ活動の推進 ◇働き盛り・子育て世代のスポーツ活動への支援 ◇高齢者のスポーツ活動の推進
<p>●スポーツ活動の基盤となる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇スポーツ活動の普及・促進を担う人材育成の支援 ◇公民連携によるスポーツ環境の整備・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◇スポーツ指導者の育成 ◇区立スポーツ施設の充実

3. SDGsを意識した点

<p>◇目指すべきまちの姿として、「健康の増進」、「生涯学習」、「ジェンダー平等」など、SDGsの視点を盛り込んだ。</p> <p>◇取組内容は、スポーツに精通した関係団体との連携を意識した。</p> <p>◇スポーツの果たす役割は、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」の目標達成に資するものと位置付けた。</p>		
<p>意識したゴール</p> 	<p>意識したターゲット</p> <p>3.d 健康リスクの早期警告とリスク軽減・管理のための能力強化</p> <p>4.7 持続可能な開発のための知識及び技能習得の推進</p> <p>5.c ジェンダー平等の促進</p> <p>11.7 安全で使いやすい緑地や公共スペースを、すべての人が利用できるようにする</p> <p>17.17 公民、市民のパートナーシップの推進</p>	<p>意識したローカル指標</p> <p>3 平均寿命</p> <p>11.7 人口当たりの施設数・面積</p>

4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

<p>◇新型コロナウイルスの影響により、スポーツを楽しむ機会や場が減少し、心身の不調や地域コミュニティの衰退が懸念される。スポーツに親しみ、誰もが健康で豊かな生活を営むことができるよう、スポーツ・レクリエーション活動の機会と場の充実を図る。また、コロナ禍においてもスポーツへの関心が高まるよう、ICTを活用し、スポーツに関する情報発信や観戦の機会を促進する。</p>

5. 参画と協働を意識した点

<p>◇スポーツ施策の推進にあたっては、豊島区体育協会、豊島区レクリエーション協会、指定管理者等、スポーツに精通した多種多様なパートナーとの連携・協働が必要不可欠である。事業の実施や施設管理・運営など、関係団体と連携して取り組むことを意識した。</p>
--

指標設定に向けたチェックシート

施策名	8-2-2	スポーツ・レクリエーション活動の推進
部課名	文化商工部 学習・スポーツ課	

【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
年齢や性別、障害の有無に関わらず、スポーツを通じて誰もが心身共に健康で豊かな生活を営むことができるまち。	①「週に1回以上スポーツを実施する」18歳以上の区民の割合【%】	スポーツの力を活用した地域コミュニティの醸成／スポーツ活動に関する意識・行動変容	→ 多様なニーズに対応したスポーツ参加機会の拡充	②区立体育施設利用者数【人】
誰もが生涯を通してスポーツに親しむことができる環境の整備・充実を図り、人と人のつながりを育み、スポーツで人と地域がいいきと輝くまち。	③「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合【%】	スポーツによる健康寿命の延伸、医療費や介護費用の抑制などの効果／スポーツ活動に関する意識・行動変容	→ スポーツ活動の基盤となる環境整備	④区立体育施設数【施設】

【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	「週に1回以上スポーツを実施する」18歳以上の区民の割合【%】	継続	成果指標	31.5	30.5	28.5	調査中	60.0	60.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
②	区立体育施設利用者数【人】	新規	活動指標	1,368,925	1,241,402	705,589	800,000	1,000,000	1,200,000	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	1,580,000
③	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合【%】	継続	成果指標	19.9	21.2	23.6	24.0	25.0	26.0	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0
④	区立体育施設数【施設】	新規	活動指標	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10

指標名	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	区民意識調査の「7. スポーツについて、あなた自身はこの程度スポーツを実施していますか」の質問に「週3日以上」「週に1～2日」と回答した人の割合	区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを測る指標であるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標②	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。	所管課データ
指標③	区民意識調査の⑩文化の同質問に「どちらかというとそう思う」と回答した人の割合	区民の多様なニーズに対応したスポーツ活動の環境づくりができていないかを測る指標であるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標④	区立体育施設数	スポーツ活動の基盤となる施設数を示す指標であるため。	所管課データ

【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」について、肯定的な回答をする区民の割合	成果指標	継続	豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書	18.1%	25.0%	30.0%	区民の多様なニーズに対応した運動・スポーツの場づくりができていないを示す指標であるため
週に1回以上スポーツを実施する成人の割合	成果指標	継続	スポーツに関する意識調査報告書	50%	60%	70%	区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを測る指標であるため